

第 187 回 日本医学放射線学会九州地方会

プログラム

会期 2018年6月23日(土)・24日(日)

会場 くまもと県民交流館パレア

会長 富口 静二

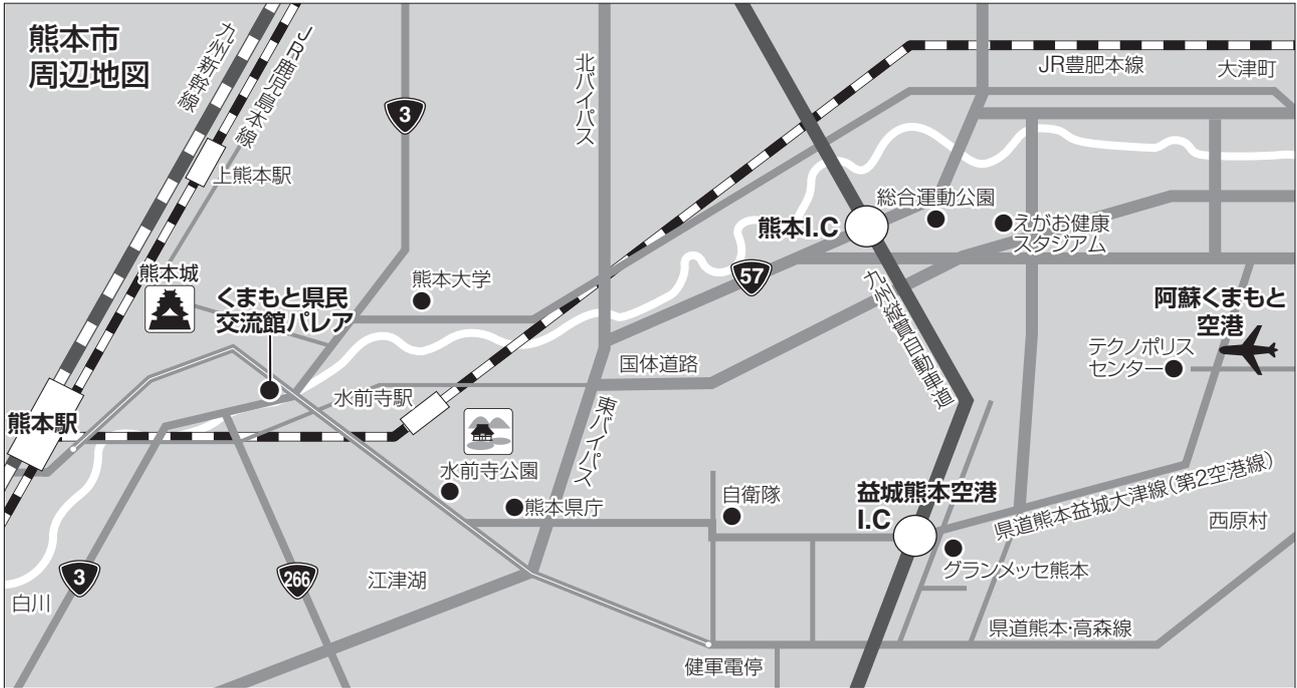
事務局

熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

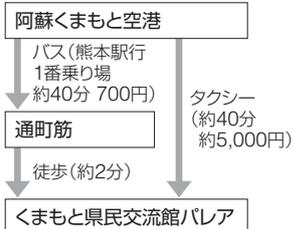
TEL : 096-373-5261 FAX : 096-373-5342

交通・会場案内図

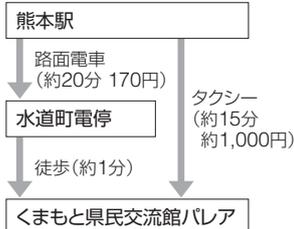


＜アクセス＞

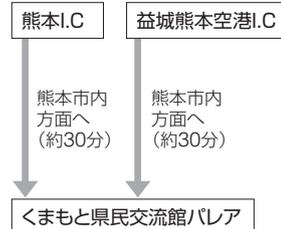
◆阿蘇くまもと空港(バス・タクシー)



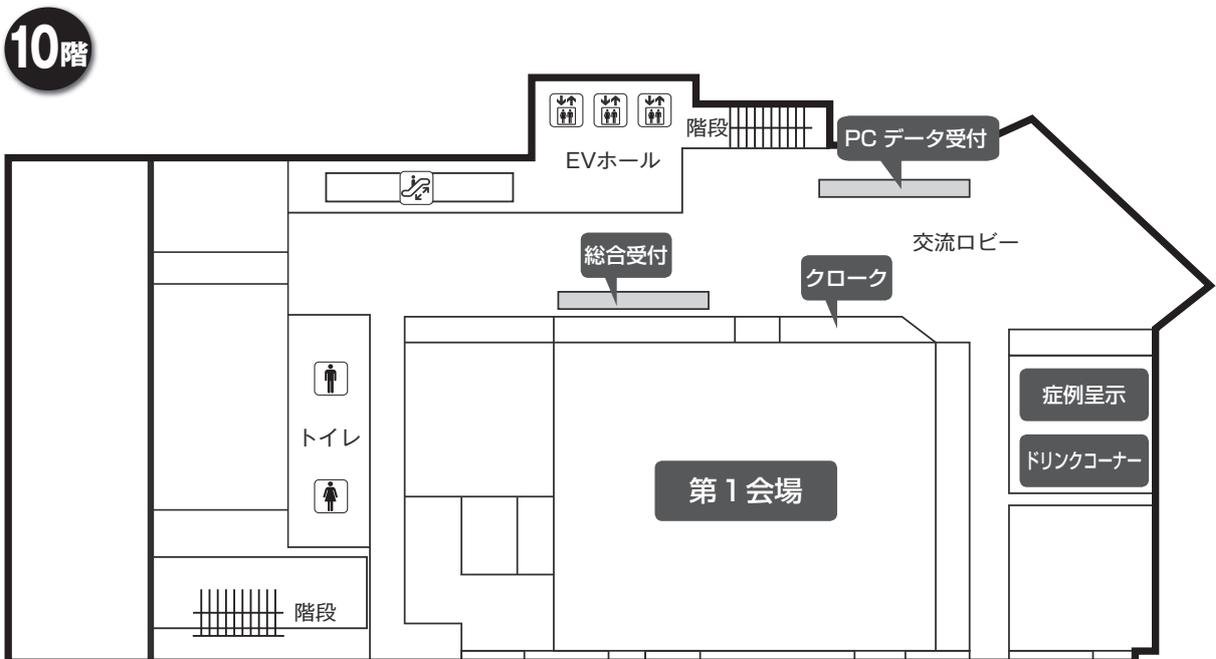
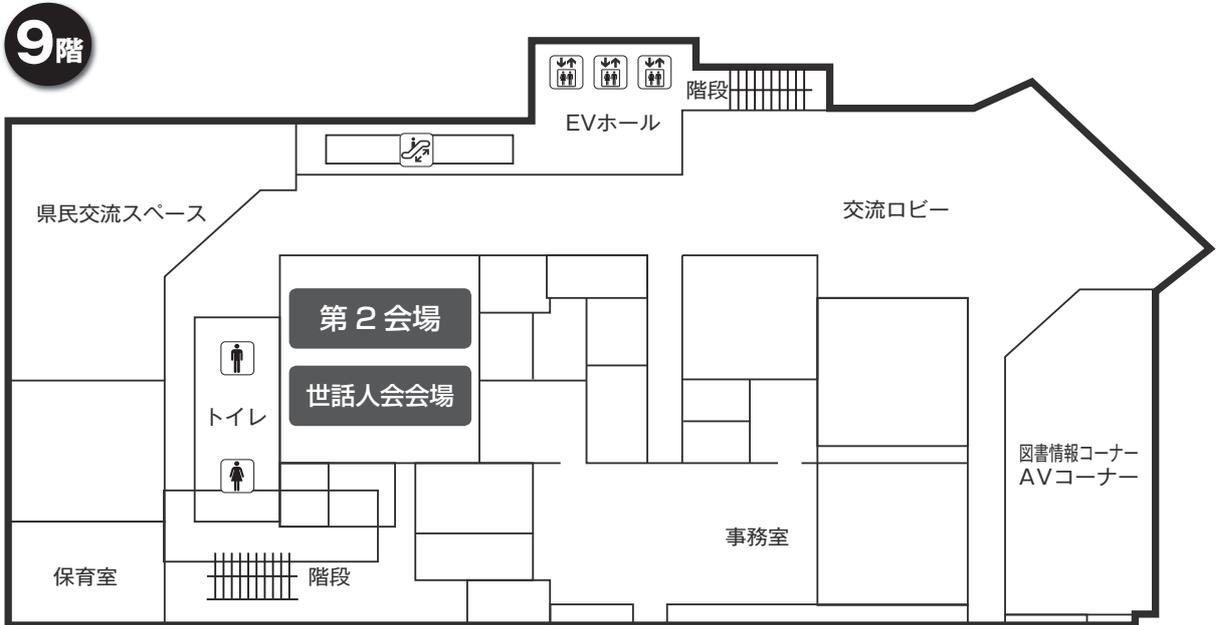
◆熊本駅(熊本市電・タクシー)



◆高速道路(自動車)



くまもと県民交流館パレア



発表者へのご案内

1. 参加受付にて会場整理費（1,000 円。会員、非会員共通です）をお支払の上、ネームカードをお受け取り下さい。
2. 一般演題の講演時間は、一部演題を除き発表 5 分（2 例以下の症例報告は 4 分）、討論 2 分です。時間厳守をお願いいたします。
3. 発表形式は当方が準備する PC でのプレゼンテーションのみに限ります。発表者持込の PC でのプレゼンテーションには対応できません。光学スライドやビデオも使用できません。下記の要領で発表データを当日ご準備ください。スライド枚数に制限はありませんが、時間内に発表が終了するようにご留意下さい。
4. 発表データは PowerPoint Windows 版に対応しています。Macintosh で作成された方は、Windows フォーマットに変換後、あらかじめ Windows 上での動作確認をお願いします。受付用 PC には変換機能はございません。
5. メディアは USB メモリあるいは CD-R でお持ちください。USB メモリをお勧めします。MO、ZIP、FDD 等は受付できません。
6. CD-R の場合には disk at once で書き込み、ファイナライズした状態でお持ちください。
7. メディアに保存した発表データが他の PC でも認識できることを事前にご確認ください。
8. PowerPoint の動画機能は使用できません。Windows 標準ではない特殊と思われるプラグインやフォントの使用はご遠慮下さい。音声、効果音は会場のスピーカーに出力できません。
9. ファイル名は、下記のように「演題番号 発表者氏名(姓)」というファイル名をつけて下さい。文字は全て英数字をご使用下さい。なお、演題番号はプログラムに記載されている番号です。
例) 演題番号 47 発表者 山田太郎のファイルの場合 → 47YAMADA.ppt
10. 発表セッションの開始 60 分前までに『PC データ受付』データにて受付および動作確認を行って下さい。なお、2 日目最初のセッションの演者の方は、できるだけ前日のうちに PC データ受付を行っていただきますようにご協力をお願いいたします。2 日目の他のセッションの演者の方も、1 日目に PC データ受付を行っていただくことは可能です。
11. 『PC データ受付』は、10F 交流ロビーに設置いたします。6月 23 日は 11:30、24 日は 8:30 に開始します。第 2 会場で発表の先生方もこちらで受付をお願いします。
12. 当日、会場においてはデータの修正用 PC は準備いたしません。修正される方は、各自で行ってください。
13. 口演時の PC 操作は演者で行っていただきます。演台にマウス、モニターを用意いたします。
14. 発表データは、学会終了後に事務局で責任を持って消去いたします。
15. 持ち込みデータに関しましては、あらかじめウイルスチェックを必ずお願いいたします。

会議等のご案内

特別講演

6月23日（土） 15:40～16:40 第1会場（10F パレアホール）

症例検討会

6月23日（土） 16:45～18:03 第1会場（10F パレアホール）

指導者講習会

6月24日（日） 9:00～10:00 第1会場（10F パレアホール）

総会

6月24日（日） 10:00～10:15 第1会場（10F パレアホール）

世話人会

6月23日（土） 18:10～ 第2会場（9F 会議室1）

日 程

6月23日(土)

第1会場 (10F パレアホール)		
12:40 ~	開会の辞	
12:45 ~ 13:16	IVR I	座長：道 津 剛 明 (大分赤十字病院・放)
13:16 ~ 13:54	IVR II + 心大血管	座長：井 上 聖二郎 (熊本大・放)
13:59 ~ 14:30	泌尿器・生殖器	座長：永 山 泰 教 (熊本大・放)
14:30 ~ 14:55	骨軟部	座長：城 戸 康 男 (長崎大・放)
15:00 ~ 15:36	脾・胆道・呼吸器	座長：尾 田 済太郎 (熊本大・放)
15:40 ~ 16:40	特別講演	座長：富 口 静 二 (熊本大・放)
16:45 ~ 18:03	症例検討会	座長：伊牟田 真 功 (熊本大・放) 上 谷 浩 之 (熊本大・放)
第2会場 (9F 会議室1)		
12:45 ~ 13:12	核医学 I	座長：白 石 慎 哉 (熊本大・放)
13:12 ~ 13:37	核医学 II	座長：谷 淳 至 (鹿児島大・放)
13:37 ~ 14:10	治療 I	座長：東 家 亮 (熊本大・放)
14:15 ~ 14:41	治療 II	座長：辻 千代子 (久留米大・放)
14:41 ~ 15:11	頭頸部	座長：大 塚 貴 輝 (高木病院)
15:11 ~ 15:36	その他	座長：中 浦 猛 (熊本大・放)
18:10 ~	世話人会	

6月24日(日)

第1会場 (10F パレアホール)		
9:00 ~ 10:00	指導者講習会	
10:00 ~ 10:15	総会	
10:20 ~ 10:39	消化管 I	座長：藤 崎 瑛 隆 (産業医大・放)
10:39 ~ 11:03	消化管 II	座長：田 口 奈留美 (熊本大・放)
11:03 ~ 11:35	肝臓・脾臓	座長：中 山 智 博 (九州大・放)
11:35 ~	閉会の辞	
第2会場 (9F 会議室1)		
10:20 ~ 10:45	脳脊髄 I	座長：與 儀 彰 (琉球大・放)
10:45 ~ 11:11	脳脊髄 II	座長：東 美菜子 (宮崎大・放)
11:11 ~ 11:38	脳脊髄 III	座長：高 野 浩 一 (福岡大・放)

第 187 回
日本医学放射線学会九州地方会

プ ロ グ ラ ム

第1日目 6月23日 土

第1会場（10F パレアホール）

開会の辞 12:40～

IVR I 12:45～13:16 座長：道津 剛明（大分赤十字病院・放）

1. 前脛十二指腸動脈－上腸間膜静脈瘻に対して血管内治療を行った一例

産業医科大学病院 放射線科・放射線治療科：森崎貴博、村上優、真崎弘美、竹下洋平、濱村俊彦、山口晋平、井出智、掛田伸吾、興梠征典

門司掖済会病院 放射線科：大成宣弘

2. 脾腎短絡による肝性脳症に対して経静脈的門脈大循環分流術を施行した一例

済生会八幡総合病院：岸川浩尚、赤司一義、野見山弘行、北川 大

3. 術前血管塞栓術を施行した直腸 SFT の一例

九州中央病院：高橋浩平、添田博康、花田清彦、足立英輔、伏見文良

4. 浸潤性尿道癌に対して4回の動注後に手術により全摘出できた1例

宮崎大学放射線科：増田梨絵、古小路英二、榮建文、平井俊範、植野堯、藤井将人、賀本敏行

5. 腹腔動脈領域の仮性動脈瘤に対してVIABAHN stent graft で治療した3例

長崎大学病院 放射線科：宮村周人、吉見聡美、石丸英樹、大塚哲洋、村上友則、末吉英純、上谷雅孝

長崎みなとメディカルセンター：坂本一郎

IVR II + 心大血管 13:16～13:54 座長：井上 聖二郎（熊本大・放）

6. 縦隔血腫、血胸により発症した気管支動脈瘤に対して塞栓術＋大動脈ステントグラフトを行なった一例

佐賀大学医学部附属病院：彌富瑞貴、江頭秀哲、武下剛、野尻淳一、高松正憲、柚木純二、入江裕之

7. SAM が原因と考えられた左胃動脈仮性瘤の胃穿通に対し塞栓術を行った1例

長崎みなとメディカルセンター 放射線科：小武隆子、御手洗和範、福島文、坂本一郎、福田俊夫
同・消化器内科：堀朋子、植原亮平

8. 直接穿刺ポリドカノール硬化療法が有効であった眼窩内静脈奇形の一例

久留米大学放射線医学講座：田淵史典、久原麻子、久木山智子、田上秀一、小金丸雅道、田中法瑞、安倍等思

9. 当院におけるVIABAHNの初期使用経験

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 放射線診断治療学：中村 信哉、瀬之口輝寿、林完勇、吉浦敬

10. 造影剤量を70%低減したCT aortographyにおける、70-kVpの有用性について

天草地域医療センター：高田千太郎、吉田守克、田上昇太、原田和則
熊本大学医学部附属病院：井上泰平、宇都宮大輔、山下康行

11. 心アミロイドーシスの診断に遅延造影CTが有用だった高度大動脈弁狭窄症の一例

熊本大学医学部附属病院：内村竜太郎、尾田清太郎、木藤雅文、中浦猛、宇都宮大輔、高潮征爾、辻田賢一、山下康行

泌尿器・生殖器

13:59～14:30

座長：永山 泰教（熊本大・放）

12. 当院で経験した尿膜管癌の一例

中津市立中津市民病院：眞鍋裕介、糸山昌宏、下川知美、日高啓、岩淵直人、山本一郎

13. 卵巣甲状腺腫の1例

中津市立中津市民病院：加藤沙樹、日高啓、糸山昌宏、眞鍋裕介、下川知美、古川雄一、山本一郎
大分大学医学部附属病院産婦人科：佐藤新平

14. 骨盤内放線菌症の3症例

琉球大学医学部附属病院：與那嶺恵里、伊良波裕子、村山貞之
那覇市立病院：又吉隆

15. 卵巣卵黄嚢腫瘍の1例

済生会福岡総合病院：高木勝弘、瀬戸口太郎、井本圭祐、鳥羽隆史、松本俊一、米田智子、坂井邦裕、加藤誠也

16. cotyledonoid dissecting leiomyomaの1例

佐世保市総合医療センター：番園隆浩、城戸康男、犬塚理子、有里沙織、川久保茉莉、野々下晃子、岩崎啓介

骨軟部

14:30～14:55

座長：城戸 康男（長崎大・放）

17. 好酸球筋炎の1例

産業医科大学：吉松悠太、林田佳子、山口晋平、掛田伸吾、青木隆敏、興梠征典、河邊明男、田中良哉

18. 右鼠径部に発生し、多房性嚢胞性腫瘤を呈した孤立性線維性腫瘍の一例

地域医療推進機構九州病院：日野将吾、宮嶋公貴、牧角健司、井上公代、平賀聖久、渥美和重、水島明、川上剛史、村上聡一郎、篠栗毅和

19. 中足骨に発生した傍骨性骨軟骨異形増生の一例

大分大学医学部附属病院 放射線科：姫野貴司、小野麻美、松本俊郎
同・整形外科：田仲和宏
同・病理部：荒金茂樹

20. 糖尿病患者のトモシンセシスによる骨強度評価：従来の骨折評価指標との比較

産業医科大学 放射線科：轟木陽、青木隆敏、藤崎瑛隆、藤井正美、林田佳子、興梠征典
同・第一内科：岡田洋右、田中良哉

脾・胆道・呼吸器

15:00 ~ 15:36

座長：尾田 済太郎（熊本大・放）

21. 男性に発症した膵粘液性嚢胞腫瘍 (MCN) の1例

長崎みなとメディカルセンター 放射線科：西村考真、御手洗和範、小武隆子、福島文、南和徳、
坂本一郎、福田俊夫

同・消化器外科：野田和雅

同・病理診断科：入江隼二

22. 膵コレステリン肉芽腫の一例

新小倉病院：菊池由生子、平方良輔、西中秀和、山崎徹

23. 脾静脈原発平滑筋肉腫の1例

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科：菊野秀彦、熊谷雄一、福倉良彦、吉浦敬

鹿児島厚生連病院：鐘撞一郎、松木田純香

24. 検診で指摘され、急速に増大した肺多形癌の1例

国立病院機構別府医療センター：菊池嘉朋、井上昭宏、福山誠一、中園裕一

25. 特徴的な肺病変から診断に至った Birt-Hogg-Dube 症候群の一例

佐賀大学医学部附属病院：吉永優、江頭玲子、中園貴彦、山口健、入江裕之

26. 肺原発 intravascular diffuse large B cell lymphoma の1例

鹿児島市立病院 放射線科：桑水流絵梨奈、篠原哲也、中山博史、中別府良昭

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断学：吉浦敬

「セラノスティクスを報告書に反映しようー AI 時代に備えてー」

福岡大学医学部附属病院 放射線部第二教授、放射線第二部長
長町 茂樹 先生

出題 熊本大学

解答 症例① 九州大学 頭部
症例② 長崎大学 肝臓
症例③ 大分大学 胸部
症例④ 佐賀大学 心臓
症例⑤ 鹿児島大学 骨軟部
症例⑥ 宮崎大学 泌尿生殖器

第2会場（9F会議室1）

核医学Ⅰ

12:45～13:12

座長：白石 慎哉（熊本大・放）

27. 脳血流 SPECT 上 CIS 偽陽性、偽陰性を呈する認知症の検討

福岡大学病院：佐藤圭亮、長町茂樹、野々熊真也、藤田一彰、高野浩一、
吉満研吾

28. 興味深い FDG-PET 所見を認めた Stiff-person 症候群の1例

福岡大学病院 放射線科：藤田一彰、長町茂樹、野々熊真也、佐藤圭亮、肥田浩亮、
高野浩一、吉満研吾

同・神経内科：藤岡伸助、合馬慎二、坪井義夫

29. 当院における Discovery molecular imaging: DMI の初期経験

- ファントム試験を用いた PETCT 装置間の画像比較の試み -

久留米大学医学部放射線医学講座：角明子、倉田精二、椿史裕、藤本公則、安陪等思

30. 骨シンチにおける SPECT 定量評価を用いた骨転移診断の有用性についての検討

宮崎大学 放射線医学講座：水谷陽一、寺田珠沙、平井俊範

核医学Ⅱ

13:12～13:37

座長：谷 淳至（鹿児島大・放）

31. 多発する弾性線維腫への FDG 集積と思われる所見を認めた一例

鹿児島大学大学院 放射線診断治療学分野：谷淳至、神宮司メグミ、中條正豊、吉浦敬

32. FDG-PET にて周囲に異常集積を呈した頭蓋内血管腫の一例

九州大学病院：菰原美由紀、馬場真吾、磯田拓郎、北村宜之、染原涼、
田原圭一郎、本田浩

33. PCI 後再狭窄例における冠動脈領域別位相指標の検討

宮崎大学医学部 放射線科：寺田珠沙、水谷陽一、平井俊範

同・内科学講座 循環体液制御学分野：鬼塚久充

福岡大学医学部放射線医学教室：長町茂樹

34. FDG-PET にて高集積を呈し悪性腫瘍との鑑別を要した Rosai-Dorfman 病の1例

熊本大学医学部附属病院 画像診断治療科：松本忠士、津田紀子、坂本史、白石慎哉、河中功一、山下康行

熊本大学医学部保健学科：富口静二

35. 頭蓋内孤立性線維性腫瘍 1 例の治療報告

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床腫瘍学分野：武田達哉、高比良飛香、芦澤和人

国立病院機構長崎医療センター 放射線科：中村太祐

長崎大学病院 放射線科：田崎裕太郎、江川亜希子、山崎拓也、上谷雅孝

36. 口唇癌に対して放射線治療を施行した 5 例

佐賀大学医学部附属病院放射線科：大平啓一、大石光寿、今泉猛、入江裕之

37. 当院における癌性髄膜炎に対する全脳照射の治療成績

琉球大学：草田武朗、有賀拓郎、石川和樹、牧野航、金城優志、
垣花泰政、平安名常一、村山貞之

38. 限局期膀胱原発小細胞癌の放射線治療成績

九州大学病院：中島孝彰、大賀才路、平田秀成、本田浩

九大 放医・ネ：野元 諭、吉武忠正、浅井佳央里、松本圭司

39. ペンブロリズマブ投与後に Radiation recall pneumonitis を発症した 1 例

産業医科大学 放：板村紘英、大栗隆行、垣野内祥、中原惣太、矢原勝哉、
興梶征典

同・呼吸器内科：矢寺和博

同・第二外科：田中文啓

40. 放射線治療が奏功した肝細胞癌門脈塞栓の 2 症例

宮崎大学医学部放射線科：井手貴一、陣内崇、楠原和朗、平井俊範

41. 子宮摘出術に先行して骨盤骨転移に対する重粒子線治療を施行した子宮平滑筋肉腫の 1 例

福岡大学 放射線科：松延亮、赤井智春、中根慎一郎、吉満研吾

同・産婦人科：勝田隆博、宮原大輔、宮本新吾

九州国際重粒子線がん治療センター：篠藤誠、寺嶋広太郎、塩山善之

42. 仙骨部原発傍神経節腫 (paraganglioma) の術後再増大病変に対し放射線療法を施行した 1 例

久留米大学放射線医学：田村重征、氷室秀知、辻千代子、服部睦行、宮田裕作、
金子崇、淡河恵津世、安陪等思

43. 進行頭頸部癌に対する QUAD shot の初期経験

熊本大学大学院生命科学研究部放射線治療医学分野：山口晃世、東家亮、松山知彦、斉藤哲雄、渡壁孝弘、
二ノ村聖、大屋夏生

44. 咽頭、食道周囲に多発した成人型横紋筋腫の一例

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院：高瀬華恵、角南俊也、平峯慶子、亀井僚太郎、津嶋久美子、
舩本博史、松浦隆志、玉江昭裕、本下潤一

45. 石灰沈着性頸長筋腱炎の1例

熊本労災病院 放射線：宮崎蒼、中村信一、近藤匠、福岡博文、荒木裕至
同・耳鼻咽喉科：草場雄基、増田聖子
同・整形外科：二山勝也

46. 多房性嚢胞性腫瘤の形態を呈した舌下腺腺様嚢胞癌の一例

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院：中村勇星、角南俊也、高瀬華恵、亀井僚太郎、津嶋久美子、
松浦隆志、野田哲平、玉江昭裕、本下潤一

47. 耳下腺腫瘍との鑑別を要した耳下部 solitary fibrous tumor の一例

九州大学医学研究院 臨床放射線科学分野：松浦由布子、神谷武志、鷺山幸二、山崎誘三、日野卓也、
筒井聡一郎、本田浩
同・耳鼻咽喉科：安松隆治
同・形態機能病理：山元英崇
同・保健学部門：藪内英剛

48. 先天性後鼻孔狭窄症の1例

国立病院機構 小倉医療センター：渡部浩史、川波哲、中嶋敏紀

49. 乳腺多形腺腫の1例

北九州市立医療センター：大島健史、高山幸久、高木正統、三田村知佳、平田文、
田中厚生、野々下豪、渡辺秀幸、齋村道代、田宮貞史

50. 悪性腹膜中皮腫の一例

共愛会 戸畑共立病院：吉田成吾、内山大治、久永紗知、今田肇、森光洋介、谷脇智

51. 小児副腎皮質癌の一例

大分大学医学部 放射線医学講座：清田貴茂、清永麻紀、山田康成、松本俊郎
同・小児科学講座：糸永和代、末延聡一、井原健二

52. レポート検索・参照画像一覧システムを Microsoft Excel で

原三信病院 放射線科：奥島一洋、出原真理加、小田原裕子

世話人会会場（9F 会議室 1）

第2日目 6月24日(日)

第1会場(10Fパレアホール)

指導者講習会 9:00～10:00

獨協医科大学放射線医学講座 主任教授
楳 靖先生

総会 10:00～10:15

消化管Ⅰ 10:20～10:39 座長：藤崎 瑛隆(産業医大・放)

53. 十二指腸癌を発症したリンチ症候群の1例

国立病院機構九州がんセンター：案浦花奈子、上田真信、内田耕栄、高津憲之、久保雄一郎、陣内三佳子、染原有希子、澤本博史、篠崎賢治、田口健一

54. 造影CTを用いた胃癌肝転移同時性・異時性発症症例の検討

九州大学 放射線科：鶴丸大介、西牟田雄祐、村木俊夫、浅山良樹、本田浩
同・消化器総合外科：沖英次

55. 神経線維腫症Ⅰ型患者に生じた十二指腸多発GISTの一例

日本赤十字社 唐津赤十字病院：岩政理花、眞武邦茂、高橋行彦、神谷尚彦、明石道昭

消化管Ⅱ 10:39～11:03 座長：田口 奈留美(熊本大・放)

56. 十二指腸乳頭部粘液性腺癌の一例

雪の聖母会 聖マリア病院：樋口賢太郎、松浦泰雄、小森哲士、小栗修一、山之内寅彦、寺崎裕子、伊藤陽平、平川雄介、木村芳三、檜垣浩一

57. 吐血を契機に診断された食道壁内偽憩室症の1例

佐賀県医療センター好生館：田畑公佑、相部仁、安座間真也、西原雄之介、岡本大佑、平木嘉樹、米倉卓尚
同・消化器内科：緒方伸一、富永直之

58. 腸間膜リンパ管腫の1例

宗像医師会病院 放射線科：甲斐聖広、宮坂光俊、増成暁、本岡慎
同・外科：堤亮介、堤敬文
福岡大学筑紫病院 病理部：原岡誠司

59. 経肛門的小腸脱出をきたした特発性直腸穿孔の1例

長崎大学病院 放射線科：高松紘子、大塚哲洋、石丸英樹、大木望、上谷雅孝

60. 非代償性肝硬変患者における肝細胞癌のCT診断：Iterative model reconstructionの有用性の検討

九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学：森田孝一郎、西江昭弘、浅山良樹、石神康生、牛島泰宏、高山幸久、岡本大佑、本田浩

同・消化器・総合外科：吉住朋晴

同・形態機能病理：樋田知之

61. 肝血管肉腫の1例

戸畑共立病院：久永紗知、内山大治、吉田成吾、木村英一、森光洋介

62. DIC-CTにおける胆管描出能：iterative model reconstruction (IMR)の有用性

九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野：高尾誠一郎、西江昭弘、浅山良樹、石神康生、牛島泰宏、柿原大輔、中山智博、藤田展宏、本田浩

九州大学大学院消化器・総合外科：吉住朋晴

63. 肝孤立性壊死性結節（solitary necrotic nodule）の1例

長崎医療センター放射線：近松元気、牧野謙二、中武美香、中村太祐、長山拓希、宮崎敦史、藤本俊史

同・病理：大坪智恵子、伊東正博

64. 肝類上皮血管内皮腫の一例

天草中央総合病院：加藤勇樹、吉住和弘

山鹿市民医療センター：幸秀明

熊本大学医学部付属病院：木藤雅文、中浦猛、浪本智弘、山下康行

第2会場（9F会議室1）

脳脊髄Ⅰ

10:20～10:45

座長：與儀 彰（琉球大・放）

65. 頭蓋内 chronic encapsulated expanding hematoma の一例

労働者健康安全機構 九州労災病院：下村悠太朗、永尾英毅、栗野晴夫、中西麻子
同・脳神経外科：芳賀整
同・病理診断科：内橋和芳、槇原康亮
産業医科大学 第一病理学教室：久岡正典

66. 後頭蓋窩原発悪性黒色腫の1例

国立病院機構 福岡東医療センター 放射線科：池俊浩、古屋暁生、和田憲明、白川友子
同・脳神経外科：保田宗紀、涌田尚樹、大城真也
同・病理診断科：居石克夫

67. 骨の変化を契機に診断に至った肥厚性硬膜炎の一例

福岡大学病院：横田梨沙、肥田浩亮、高野浩一、吉満研吾
同・眼科：伊崎亮介、上村貴志
同・神経内科：三嶋崇靖、立石雄嗣、藤岡伸助、坪井義夫

68. Synthetic MRI を用いた皮質脊髄路の描出

宮崎大学医学部放射線科：門田善仁、東美菜子、ZawAung Khant、服部洋平、平井俊範

脳脊髄Ⅱ

10:45～11:11

座長：東 美菜子（宮崎大・放）

69. OGSE 法による短い拡散時間での ADC 測定：健常脳における PGSE 法との比較

鹿児島大学大学院放射線診断治療学分野：上村清央、中條正典、米山知秀、吉浦敬
鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門：大塚洋和
シーメンスヘルスケア：今井広

70. Perfusion CT による脳血流量定量における PhyZiodynamics の有用性：IMP-SPECT との相関の改善

九州大学病院：桃坂大地、柁尾理、山下孝二、菊地一史、中武裕、
馬場真吾、本田浩、樋渡昭雄
Ziosoft：下宮大和

71. 延髄胚腫の一例

琉球大学医学部附属病院放射線科：伊藤純二、與儀彰、村山貞之
同・第三内科：崎間洋邦

72. リウマチ性髄膜炎と診断された一例

福岡市立病院機構 福岡市民病院：前村大將、楠正興、清澤恵理子、吉田喜策、柴田憲一、
長野祐久

73. 全身性エリテマトーデスにおける脳内酸素摂取率：疾患活動性との関係

産業医科大学：掛田伸吾、宮田真理、興梠征典

同・第一内科：岩田慈、田中良哉

北海道大学・放射線科：工藤與亮

74. 眼窩内原発神経内分泌腫瘍の一例

九州大学 臨床放射線科学分野：中武裕、梶尾理、山下孝二、菊地一史、桃坂大地、馬場眞吾、本田浩

同・眼科分野：田邊美香

同・形態機能病理：木下伊寿美

同・分子イメージング・診断学講座：樋渡昭雄

75. 高悪性度神経膠腫の APT 信号：ADC および rCBV との相関

鹿児島大学 放射線診断治療学分野：中條正典、上村清央、米山知秀、吉浦敬

同・脳神経外科：平野宏文

76. 当院で経験した Atypical rhabdoid tumor(AT/RT) の 3 例

熊本大学医学部附属病院：中嶋未奈、上谷浩之、北島美香、立石真知子、山下康行

同・脳神経外科：黒田順一郎、武笠晃丈

第 187 回

日本医学放射線学会九州地方会

症 例 検 討 会

座長：伊牟田 真功（熊本大・放）
上谷 浩之（熊本大・放）

出題 熊本大学

解答	症例①	九州大学	頭部
	症例②	長崎大学	肝臓
	症例③	大分大学	胸部
	症例④	佐賀大学	心臓
	症例⑤	鹿児島大学	骨軟部
	症例⑥	宮崎大学	泌尿生殖器

◆症例検討①（神経）出題

【症 例】 33 歳 男性

【主 訴】 繰り返す強直性けいれん

【現 病 歴】 X-7 年、全身強直性けいれんが出現し、近医へ救急搬送となった。臨床検査や頭部 MRI の所見から髄膜炎が疑われたが、最終的に細菌・真菌・ウイルス・結核感染は否定された。その後、プレドニゾロン内服と抗けいれん薬内服で経過観察されていたが、けいれん / 意識障害 / 共同偏視 / 見当識障害 / 失語症などの多彩な症状が現れ、ステロイドが著効するも再発を繰り返していた。

【既 往 歴】 特記すべきことなし

【家 族 歴】 なし

【当院初診時一般内科学的所見】 身体所見に特記事項なし

【当院初診時 神経学的所見】 意識清明

明らかな神経学的異常所見なし

（血算）

WBC 14500 / μ L
RBC 438 万 / μ L
Hb 14.2 g/dL
PLT 31.6 万 / μ L

（凝固）

PT 12.8 秒
PT(INR) 1.08
APTT 27.0 秒
D-dimer 0.5 μ g/ml

（生化）

Na 140 mEq/L
Cl 112 mEq/L
K 3.7 mEq/L
CRP 0.32 mg/dl
S-IL2R 553 U/ml
TSH 0.13 μ U/ml
FT3 2.81 pg/ml
FT4 1.13 ng/dl
Tg 抗体 <0.3 IU/ml
BNP <5.8
HgbA1c 5.3%
T-Cho 180 mg/dl
IgG 535 mg/dl
C3c 119.5 mg/dl
C4 42.1 mg/dl
CH50 57 U/ml
RF <3
ANA 2
抗 ds-DNA <0.5 IU/ml
SS-A <0.5 U/ml
SS-B <0.5 U/ml
ACE 5.0
HLA-B51 -

（感染）

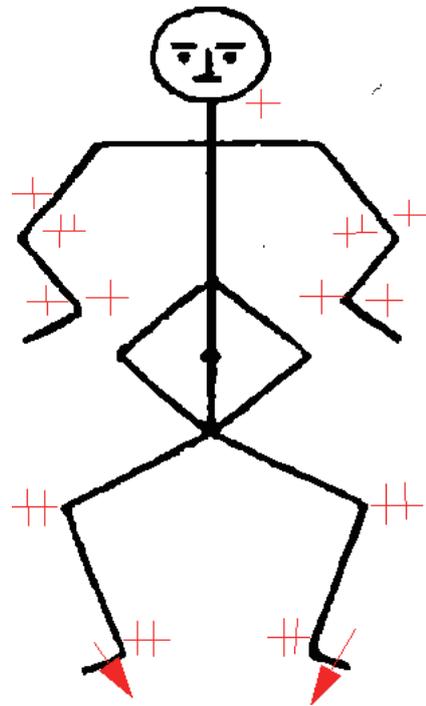
RPR 陰性
TPLA <0.50 COI
CMV IgG +
CMV IgM -
VZV IgG +
VZV IgM -

（髄液）

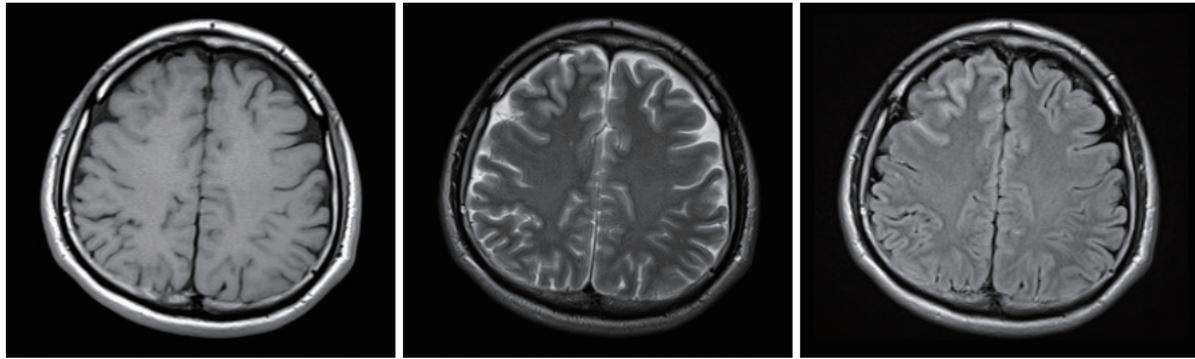
L-TP 26.2
L-Cl 132
L-Glu 90
L-細胞数 5

（経過中に判明したデータ）

IgG index 0.46
IgG 567
MBP <40
OCB 陰性
VGKC 抗体 0
NMDAR 抗体 未測定
抗 AQP4 抗体 <1.5 U/ml



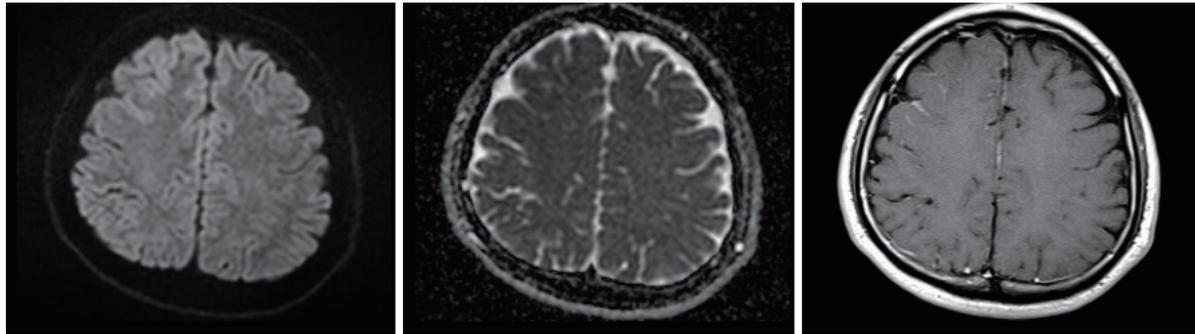
初回 MRI X-7 年



T1WI

T2WI

FLAIR

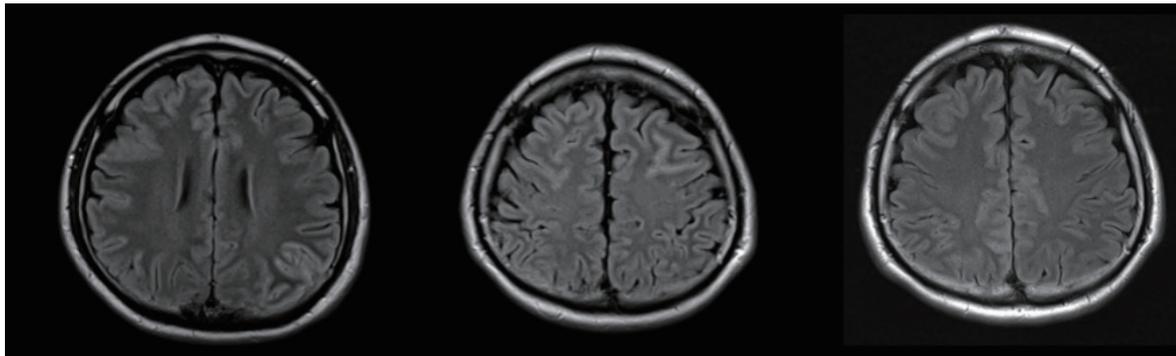


DWI

ADC

Gd T1WI

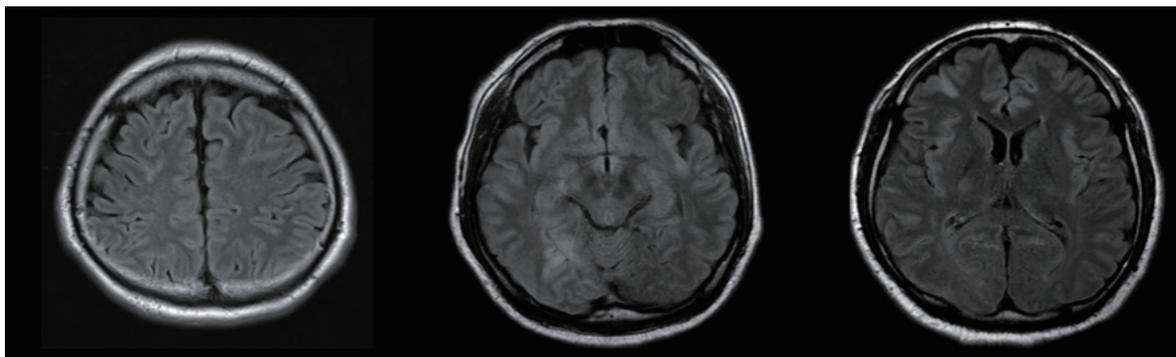
経過 FLAIR



4 か月後

6 か月後

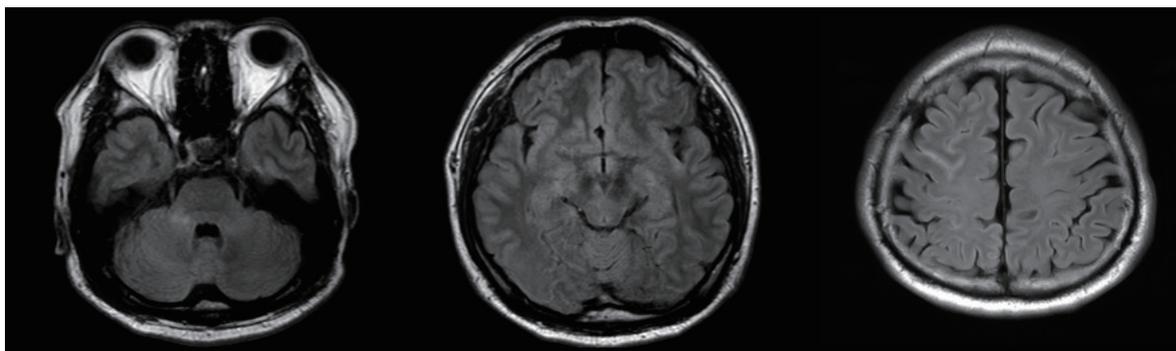
1 年後



1 年 2 か月後

1 年 3 か月後

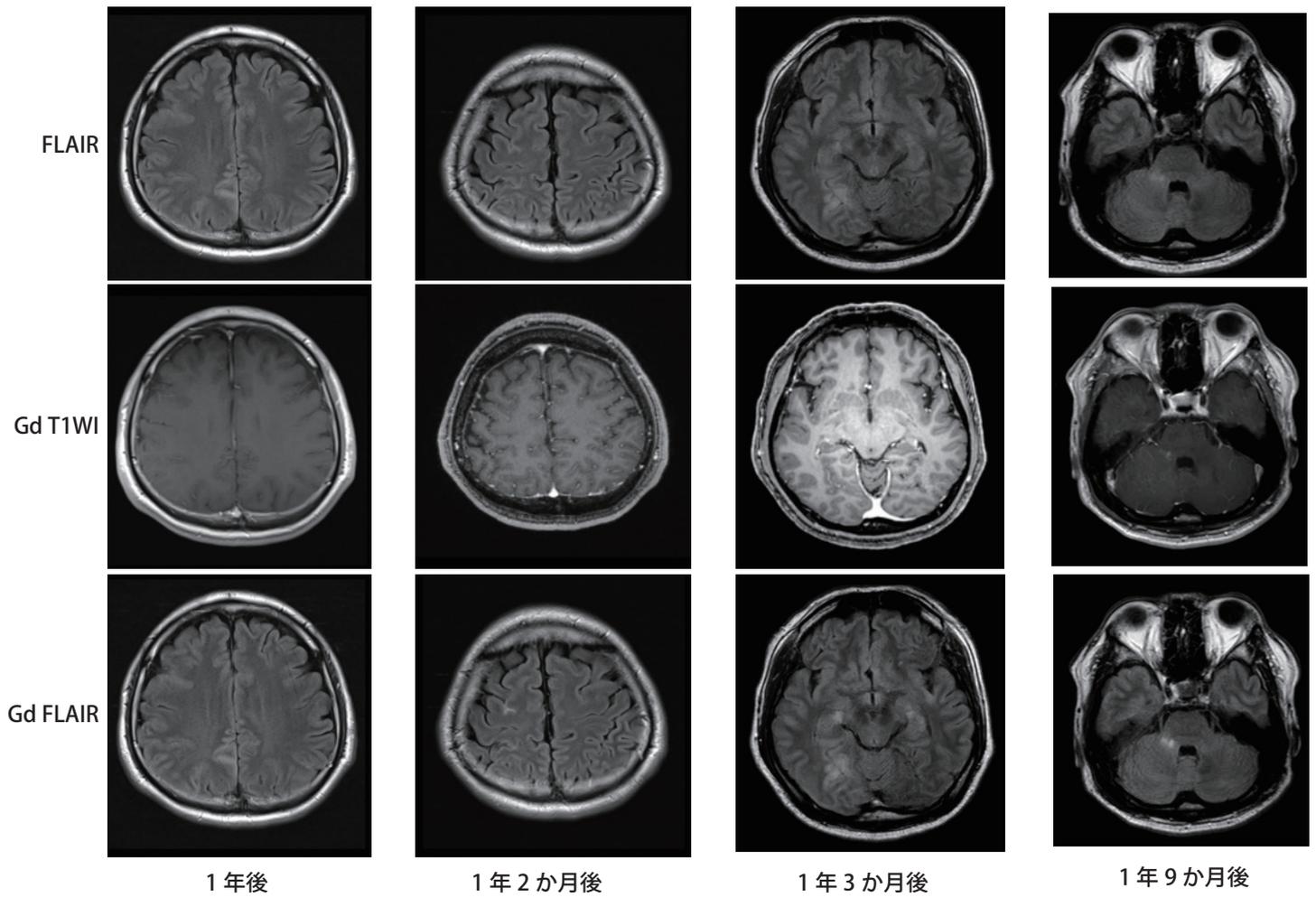
1 年 6 か月後



1 年 9 か月後

2 年後

2 年 2 か月後



その他の検査

Ga シンチ異常なし
 胸腹部 CT 異常なし

◆症例検討②（腹部）出題

【現病歴】

200X年、C型慢性肝炎に対してDCV/ASV併用療法を施行され、持続ウイルス陰性化(SVR)が確認されている。
200X+1年、腹部エコーにて肝腫瘍を指摘され、精査加療目的に当院紹介受診となった。

【既往歴】

C型慢性肝炎：SVR後

胆嚢摘出術後

【家族歴】

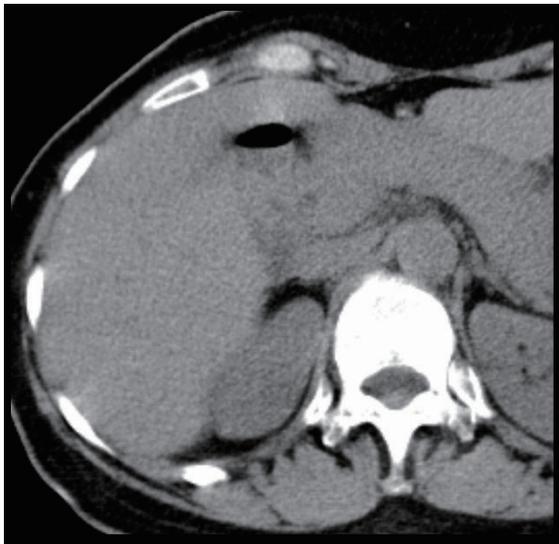
母、弟：ともにC型肝硬変、肝細胞癌

【血液検査】

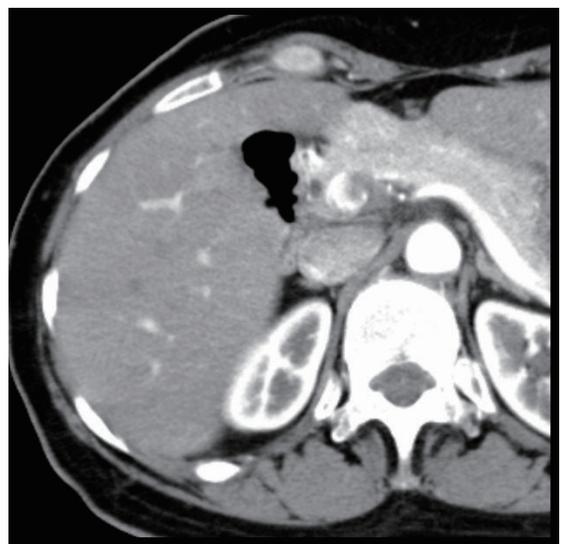
AFP 4.7 PIVKA-II 15 CEA 3.7 CA19-9 <0.6

その他、肝胆道系酵素は正常範囲内

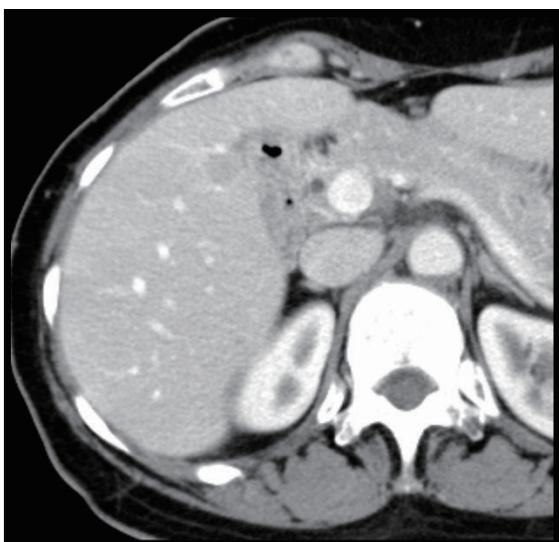
造影CT



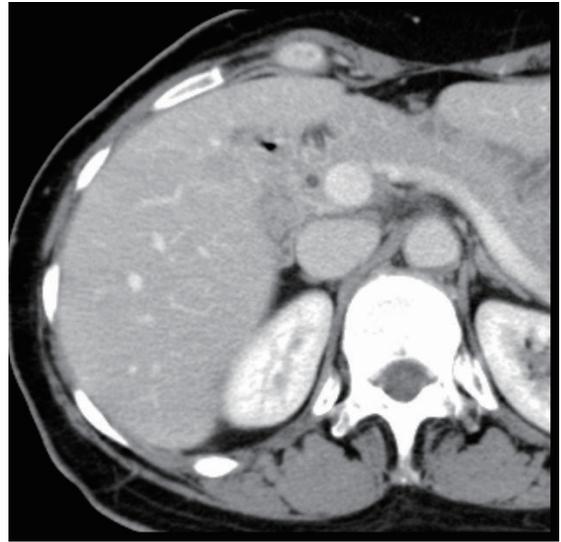
単純



動脈相

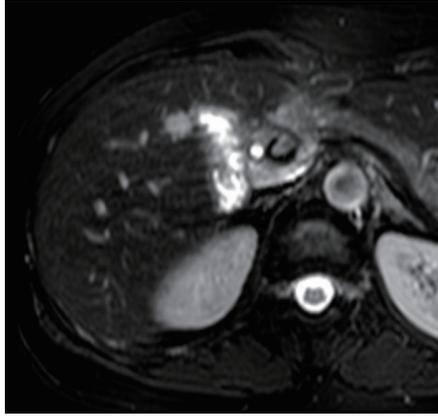


門脈相

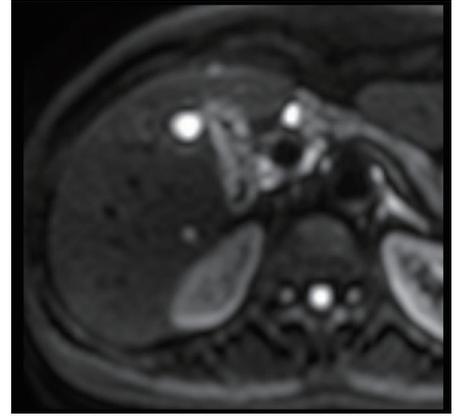


平衡相

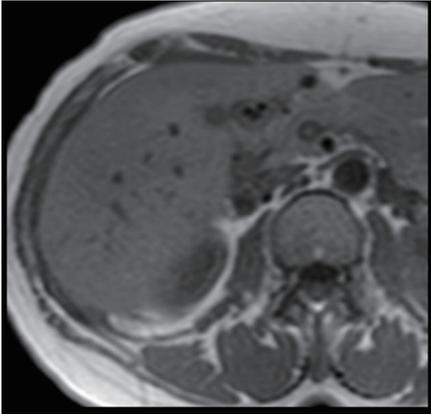
造影 MRI



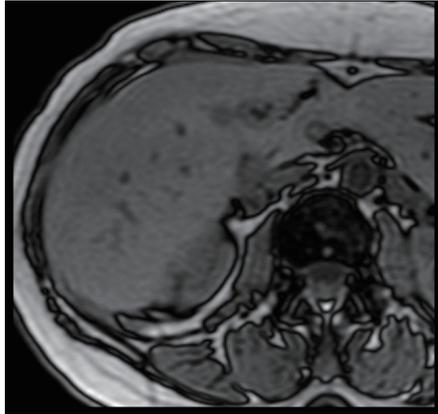
脂肪抑制 T2WI



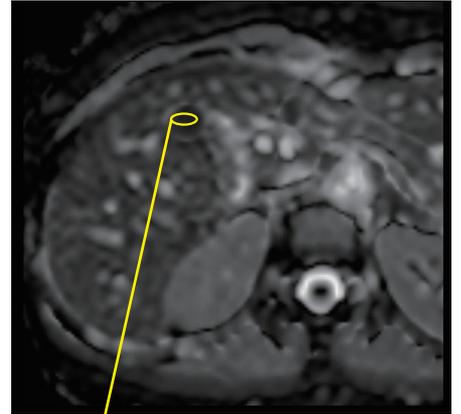
DWI(b=1000)



In phase



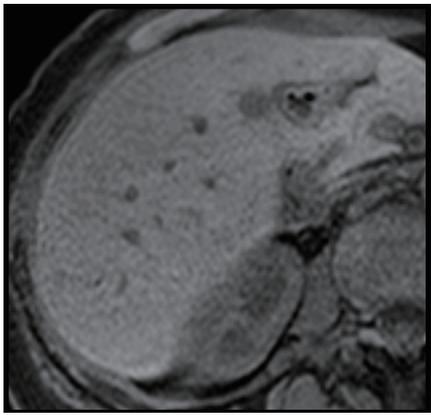
Out of phase



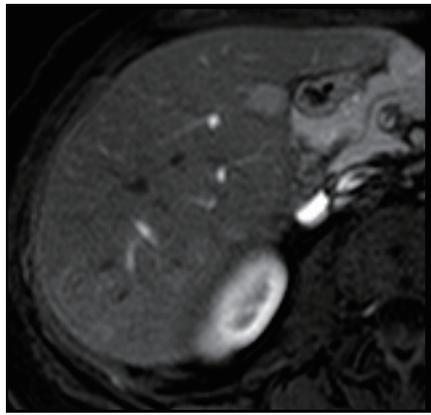
ADC-map

ADC 值 = $0.60 \times 10^{-3} \text{mm}^2/\text{s}$

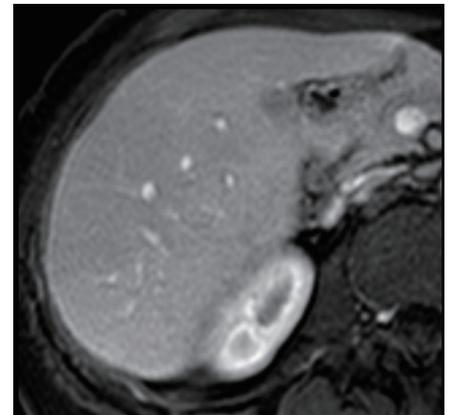
Dynamic study



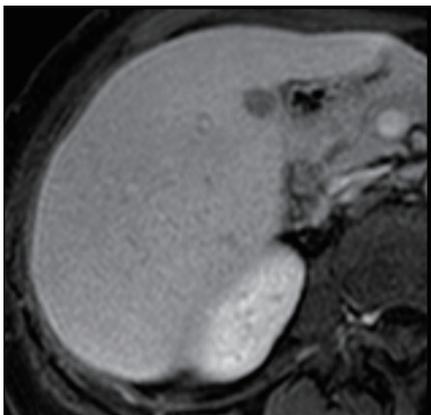
Pre



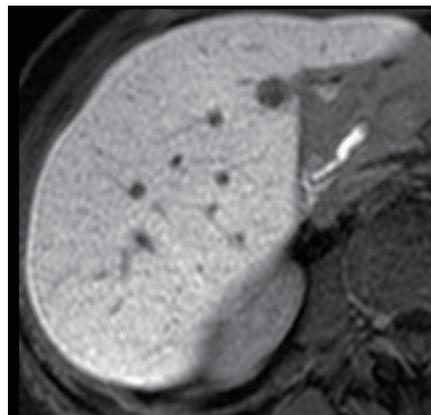
1st



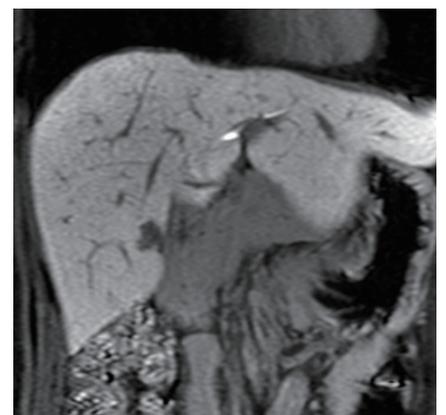
2nd



3rd

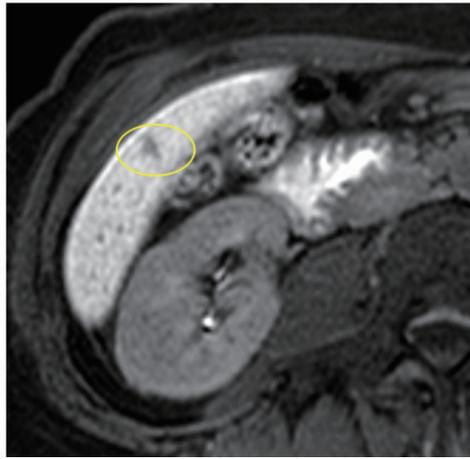
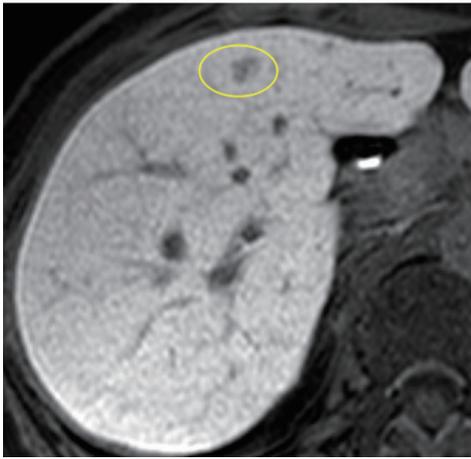
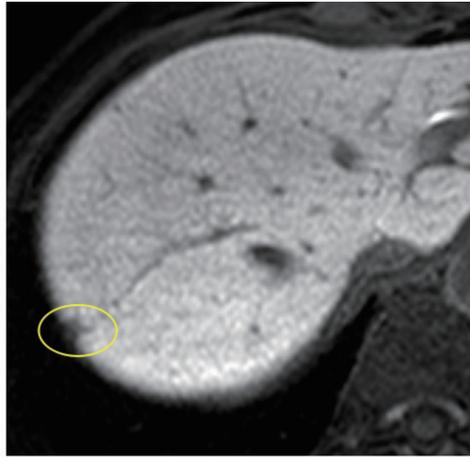
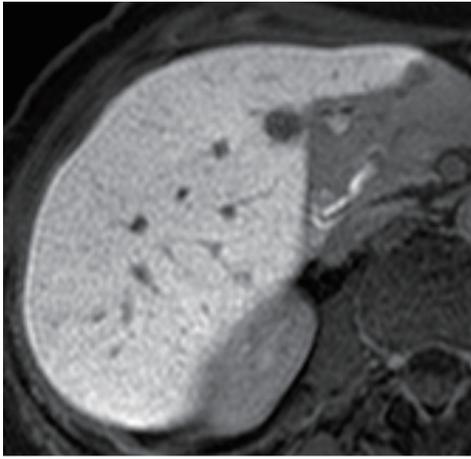


肝細胞造影相

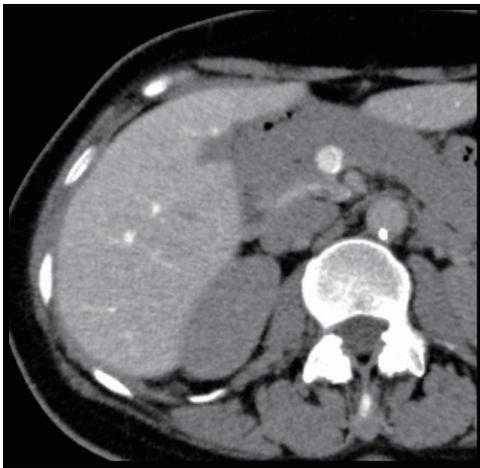


肝細胞造影相 cor

肝細胞造影相

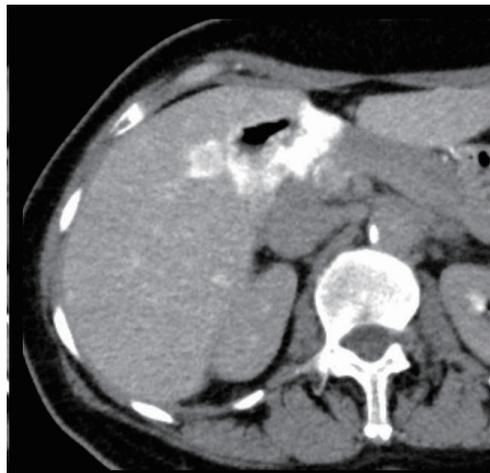
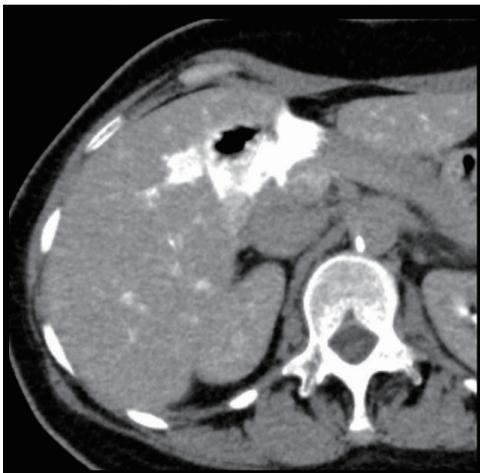


同様の
信号変化あり
(CT では指摘できず)



IVR-CT

CTAP	
CTHA 1st	CTHA2nd



◆症例検討③（胸部）出題

【症 例】 2x 歳 男性

【主 訴】 労作時呼吸困難

検診で胸部異常陰影を指摘され、前医受診。肺炎疑いで抗生剤治療を開始するも改善なく、徐々に陰影増悪を認めた。

【喫 煙】 past smoker 20 本 / 日 × 10 年（3 年前に中止）

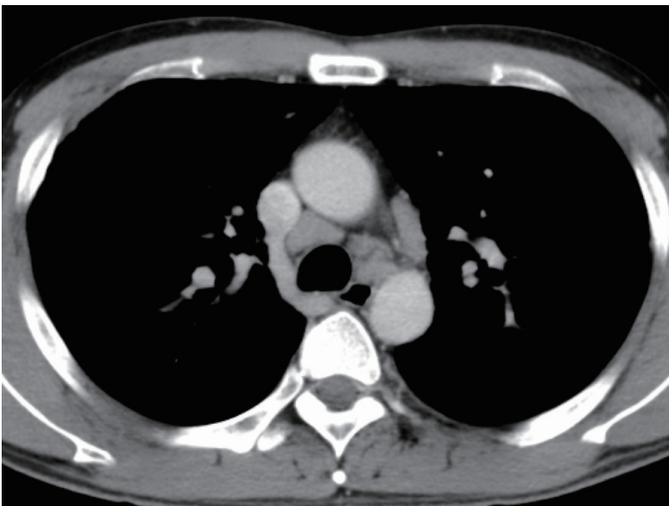
【職 歴】 精密機械組み立て

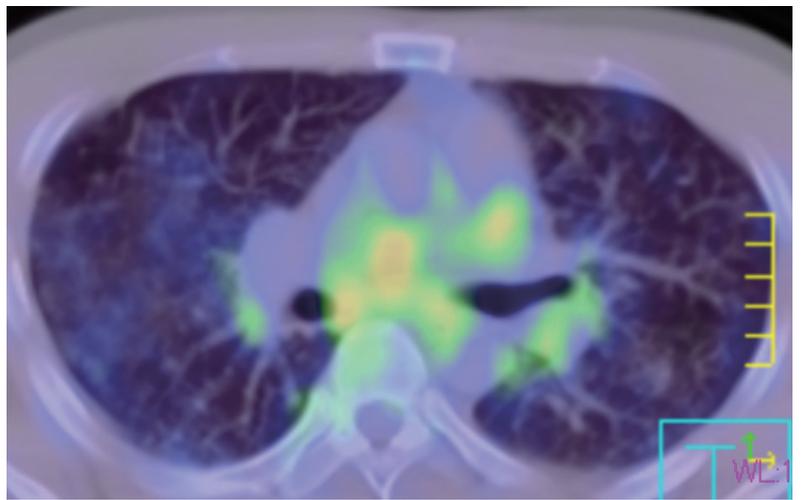
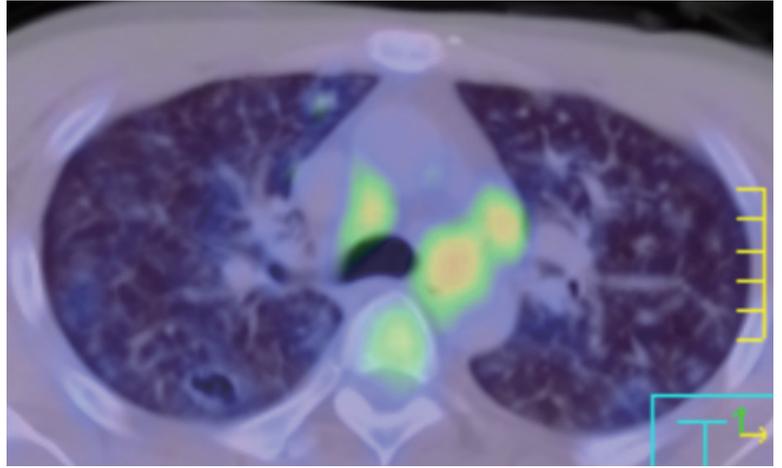
【呼吸機能検査】 異常なし

【検体検査】

WBC=8400 / μ l、CRP=3.74 mg/dl、TP=11.3 g/dl、Alb=3.8 g/dl

LDH=148l U/l、sIL2R=771 U/ml、KL-6=416 U/ml、SP-D=179 ng/ml





◆症例検討④（心血管）出題

【症 例】 70歳代 男性

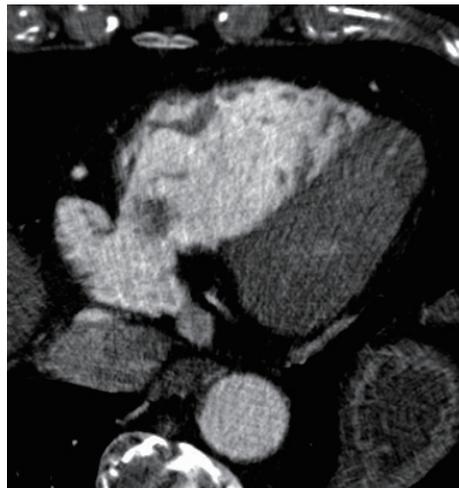
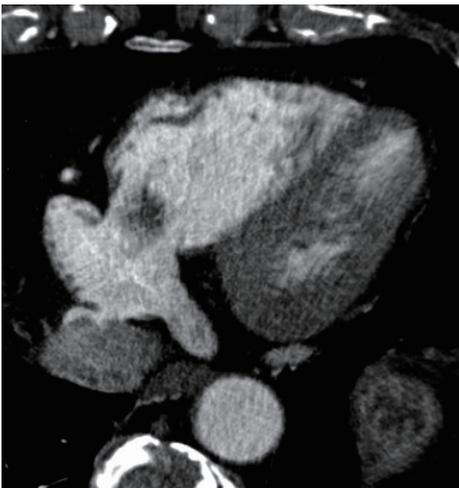
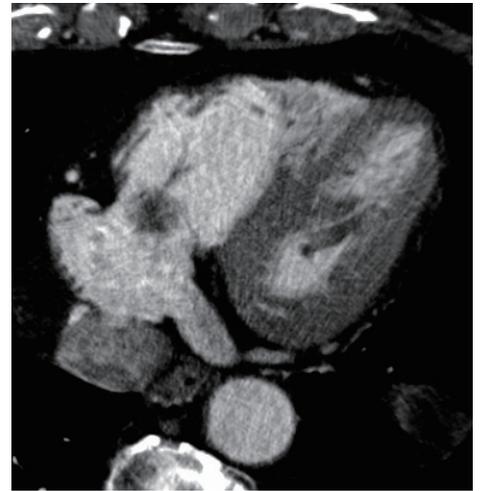
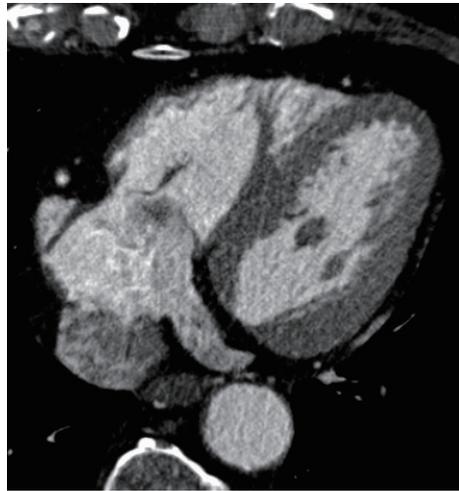
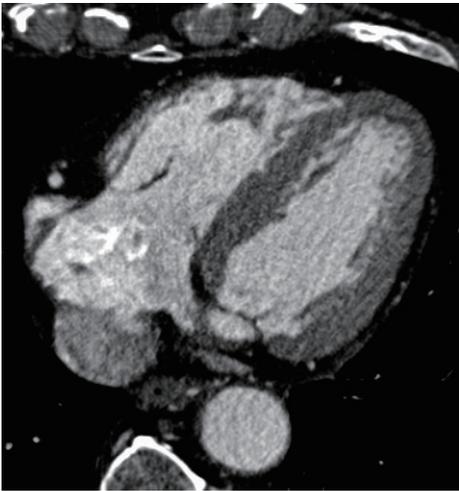
【主 訴】 動悸

【現 病 歴】 3ヶ月前に健診で心室性不整脈（期外収縮）を指摘された。精査の心臓超音波検査にて右房内腫瘍が認められ、当院紹介となった。

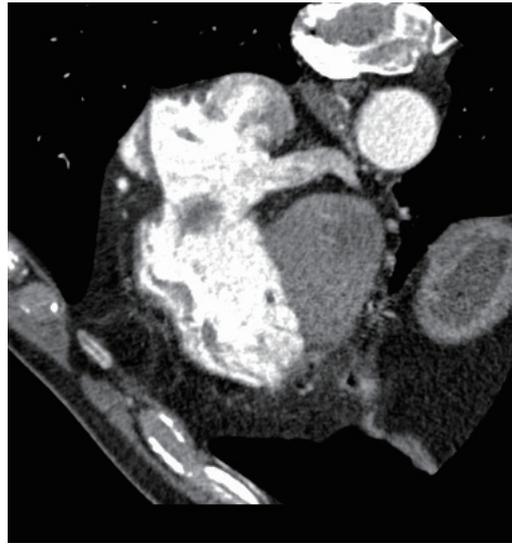
【既 往 症】 高血圧

【血液検査】 特記すべき異常値なし

心臓 CT

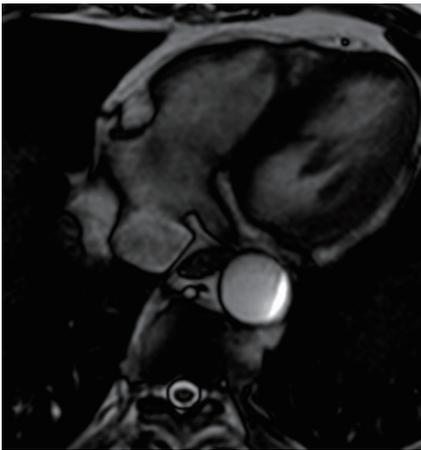


心臓 CT

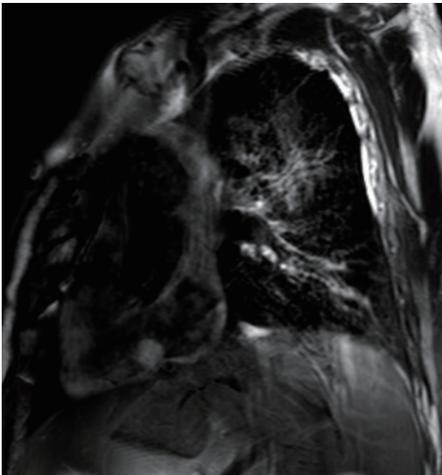


心臓 MRI

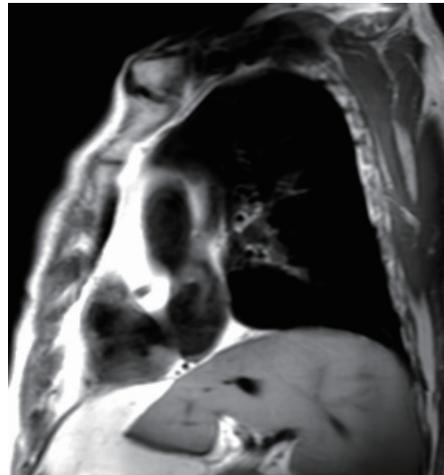
シネ画像



脂肪抑制 T2 強調画像 black blood



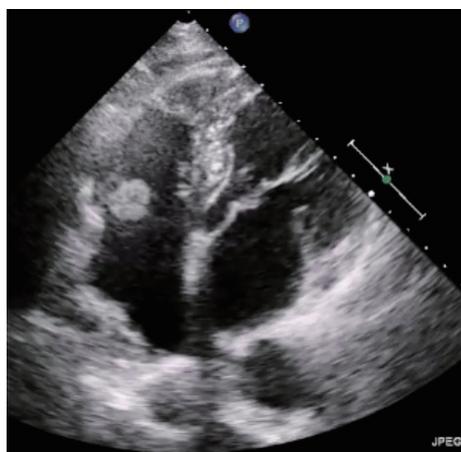
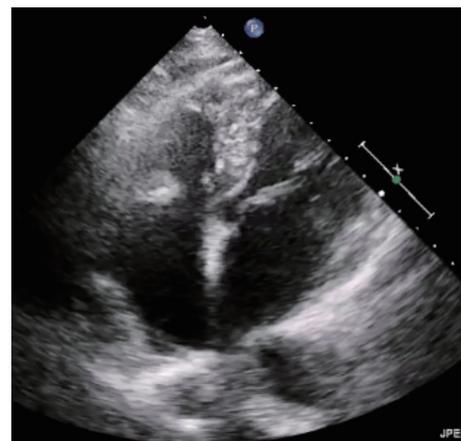
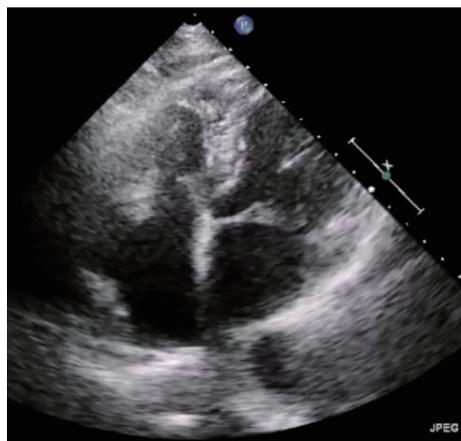
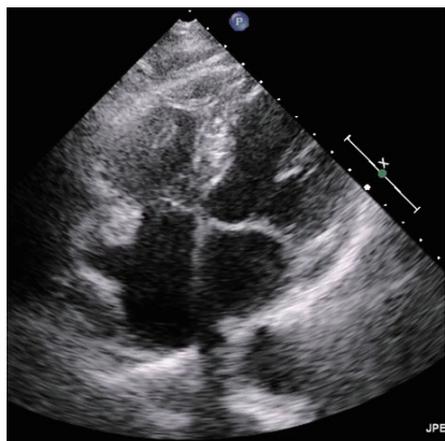
T1 強調画像



造影 T1 強調画像



經食道心臟超音波



◆症例検討⑤（骨軟部）出題

【症例】52歳 女性

【現病歴】20年前に特に誘因なく左足関節腫瘍に気づいたが、特に症状無く様子を見ていた。5年前から腫瘍は増大傾向を認め、正座に際して疼痛を認めたため、治療を希望し当院紹介受診。

【身体所見】左足関節周囲に12cm × 4cmの腫瘍を触れる。

弾性軟～硬, 圧痛はあるところとないところがある。

足背動脈触知(+)

熱感(±), 足関節可動域 ほぼ正常, 運動時痛(±)

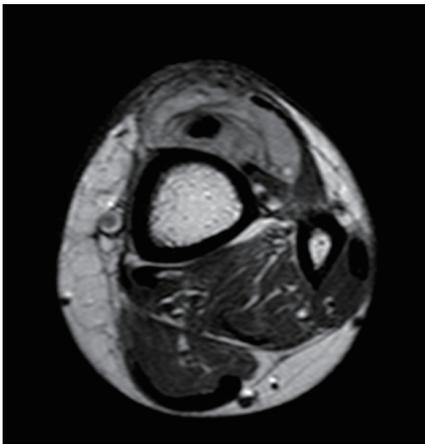
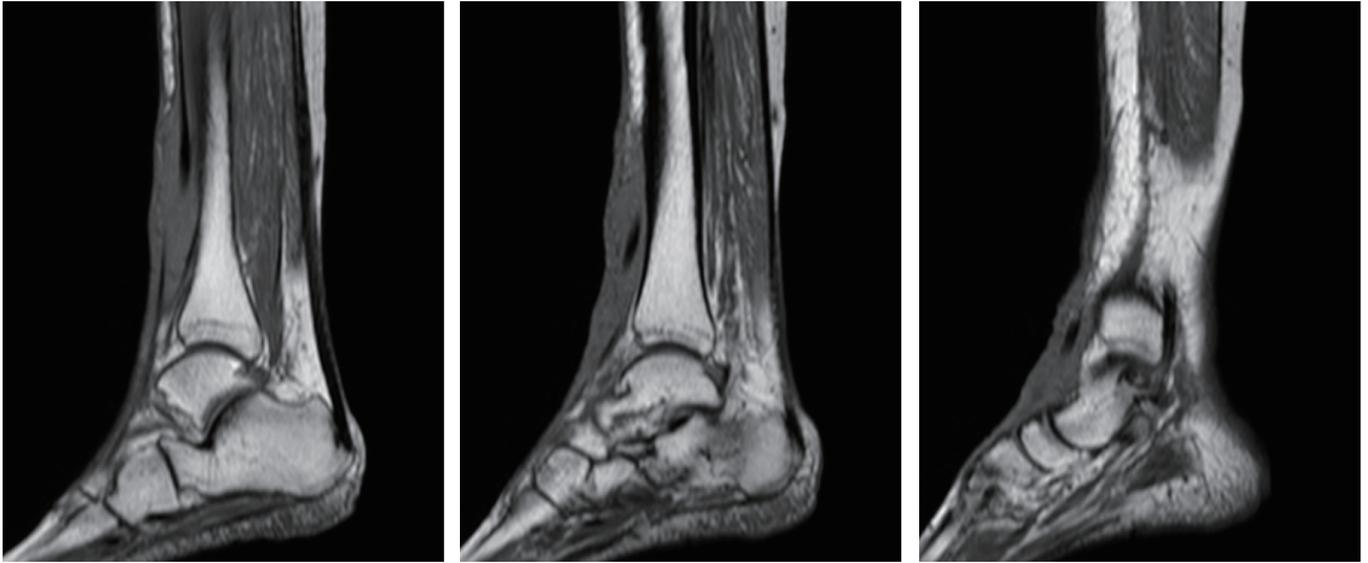
【既往歴】なし

【血液検査】特記事項なし

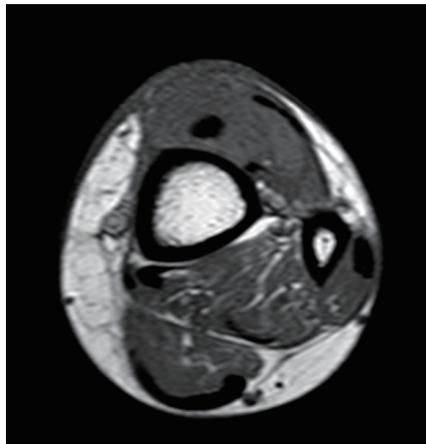
左足関節単純写真



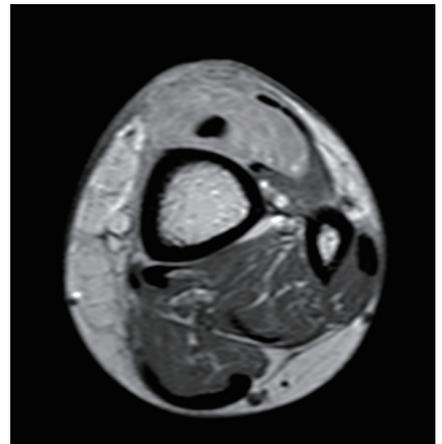
MRI: 全体像 (T1WI)



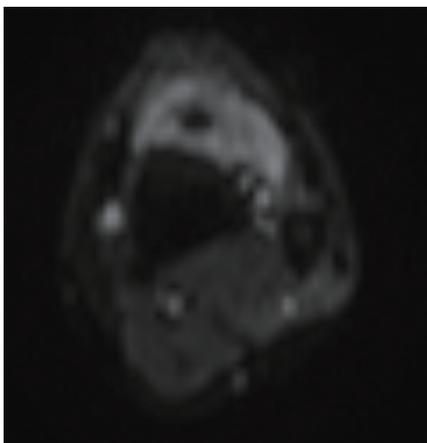
T2WI



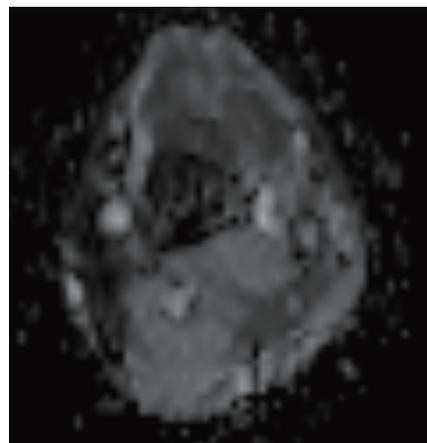
T1WI



Gd-T1WI



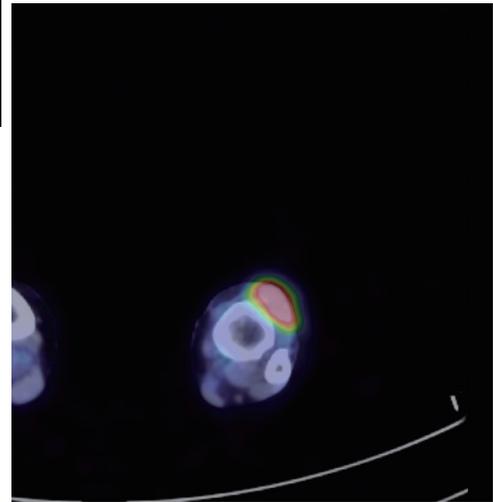
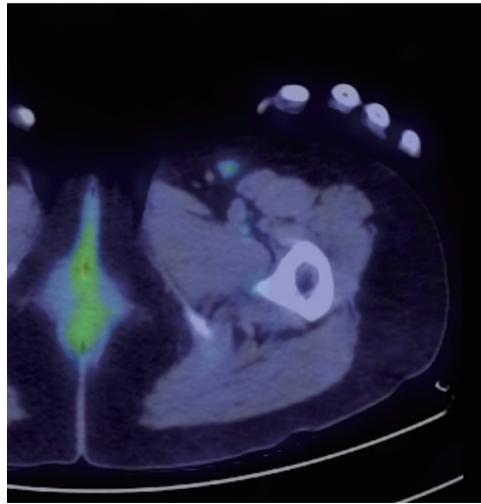
DWI



ADC map

ADC value
=0.8

FDG-PET



◆症例検討⑥（泌尿生殖器）出題

【症 例】40 歳代女性 4G2P

【主 訴】下腹部の腫瘤感

【現 病 歴】4 年前の子宮癌検診にて異常なし。1 ヶ月前より左下腹部に腫瘤感を自覚。前医受診し骨盤内腫瘍を指摘。精査加療目的にて当院婦人科紹介。

【既 往 歴】

13 歳 虫垂炎

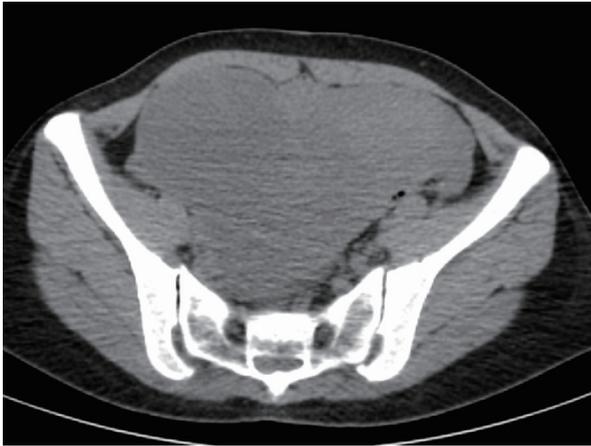
29 歳 異所性妊娠に対し開腹術（詳細不明）

【家 族 歴】祖父（胃癌）

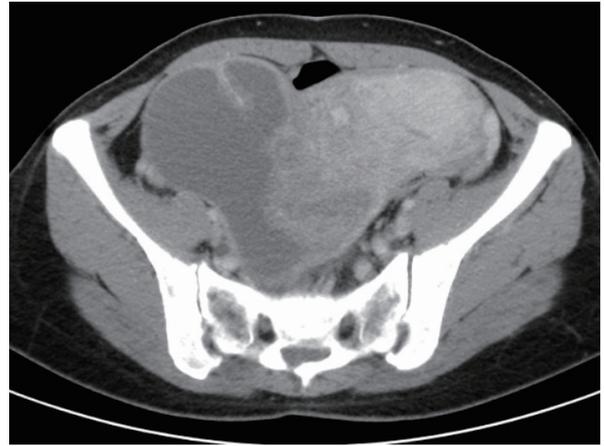
【検査所見】

CEA 2.1 ng/mL、CA19-9 54.2 U/mL、CA125 319.6 U/mL、LH 20.8、FSH 24.7 mIU/mL、HCG <0.5 mIU/mL

CT

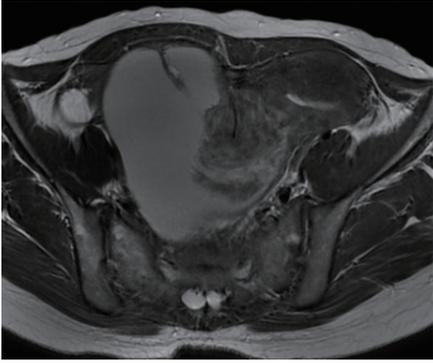


単純

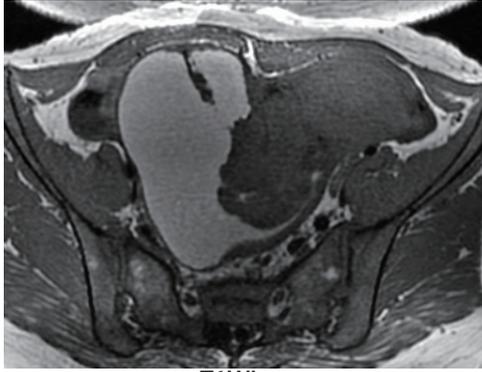


造影

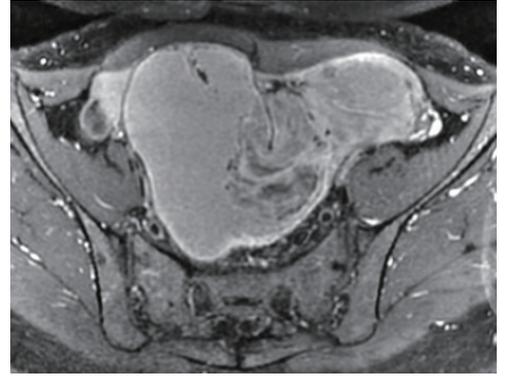
MRI



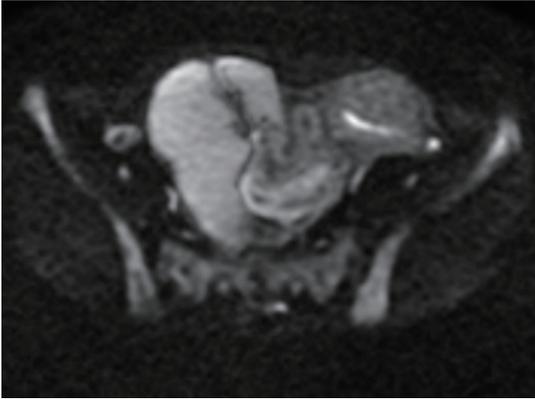
T2WI



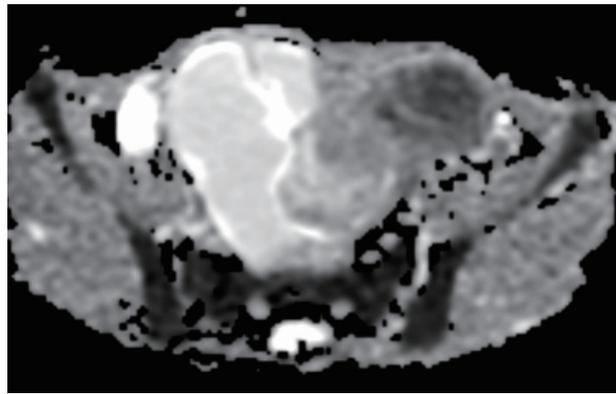
T1WI



CET1WI



DWI



ADC=1.6

PET/CT

